

様式第 1 号

会 議 録

会 議 の 名 称	第3回 所沢市保健所設置検討委員会
開 催 日 時	令和7年7月29日(火) 午後6時30分から午後8時00分まで
開 催 場 所	市役所高層棟6階 604会議室
出席者の氏名	委員長 今城 俊浩 副委員長 扇原 淳 委員 西 汐里、成田 英明、秋山 世志子、塚本 京子、 仲野 真海、阿部 由香、伊東 成未、赤間 登美子、 清水 光恵、小内 正秋、西川 裕二、鈴木 聡子、 小口 千春、福田 郡盛、河野 文代
欠席者の氏名	高橋 直也、下山 賢一郎、梅田 宜咲
傍 聴 人	1名
説明者の職・氏名	
議 題	(1) 所沢市保健所設置基本計画 素素案について (2) その他
会 議 資 料	資料1 第3回 所沢市保健所設置検討委員会 次第 資料2 第3回 所沢市保健所設置検討委員会 席次表 資料3 所沢市保健所設置基本計画素素案 資料4 所沢市保健所設置基本計画素素案 概要資料 資料5 【参考資料】所沢市●●計画の策定について(答申)

担 当 部 課 名	経営企画部		
	経営企画課	課長	齋藤 伸宏
	中核市推進室	副主幹	大舘 徹
		主任	松下 幸平
		主任	細谷 朋輝
	副市長付 政策調整担当主査		廣川 澄芳
	健康推進部	部長	小山 貴之
		次長	田中 浩文
		保健センター長	糟谷 苗美
	保健医療課	課長	中山 倫宏
		副主幹	佐藤 征逸
	保健所準備室	副主幹	森 真太郎
		主査	右近 靖尚
		主任	宮崎 一
		主任	小室 明日香
	健康管理課	主幹	小野寺 健
	健康づくり支援課	課長	岩雲 美香
		主幹	近藤 真弓
	環境クリーン部	部長	畑中 武
		次長	大久保 千明
	生活環境課	課長	日高 義行
(事務局) 健康推進部 保健医療課 保健所準備室			
電話 04-2998-9385			

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	（１）所沢市保健所設置基本計画 素案について 資料３・４に基づき、基本計画第１章及び第２章について、第二回検討委員会での意見を踏まえた修正箇所について説明。 続けて、第３章 敷地利用計画及び施設計画（施設整備の基本的な考え方、施設規模、敷地利用計画、施設計画）について説明。 （質疑応答）
委員	施設整備の基本的な考え方について、隣接する生涯学習推進センターは指定避難所に指定されているが、所沢市保健所は、健康危機に的確に対応できる施設として、防災倉庫の設置など備蓄機能を備えることを想定しているか。
事務局	所沢市保健所を避難所として指定することは想定していないが、健康危機管理の拠点となる施設としての備蓄を備える考えである。
委員	環境省からはペットの同行避難が推奨されているため、動物愛護管理センターにペット連れの避難者が集まってくる可能性があり、対応を求められることも想定される。そのような想定も踏まえた備蓄があると良いと考える。
事務局	いただいた意見を踏まえ、検討を進めたい。
委員	基本的な考え方として、試験検査室は関係者以外原則立ち入り禁止にするとのことだが、検査に支障がない範囲で、例えば廊下側をガラス張りにするなど、研修生等が見学できるようになっていると良い。また、景観に配慮した施設として、採光のために窓ガラスを大きくとる場合、耐震性の確保や室温の維持が難しくなり、空調費が増加する例も見られるため、その点も十分に考慮してほしい。
事務局	試験検査室について、事務局が視察に伺った保健所でもガラス張りとなっている施設はあり、そういった視点も勘案し検討していき

	たい。また、エネルギーコストの抑制は、市としても重要と捉えているため、いただいた意見を踏まえ、引き続き検討を進めたい。
委員	想定する職員数は、県内中核市や所沢市近似自治体の保健所職員数から割り出したとのことである。保健所では、業務内容に応じた専門職員が必要となるため、職員数は業務内容により大きく変わるものとするが、そういった専門職員の積上げは行っているのか。
事務局	ここで想定している職員数は、施設規模を算定するための職員数（総量）であり、職種別の積上げや具体的な必要人員については、人事部門や所管課と協議を行いながら今後精査を行っていく。 なお、基本計画 11 頁で、法律上必要な職種は既に洗い出しており、また、職員数の想定に当たり参照した自治体も記載している。自治体により職種や職員数が異なるため、こういった事例や市として注力したい業務等を踏まえ、総合的に判断していくこととなる。
委員	狭山保健所では、非常時の執務環境として、コンセントがない、電話線が引かれていないなどが課題であったため、健康危機への備えとして記載している非常用電源や太陽光発電設備の設置は、非常に有効と考える。また、敷地利用計画として、歩行者と車両の出入口を 1 か所ずつ確保すると記載があるが、職員が市役所方面に向かう際などに、右折ができず遠回りしなければならないことが懸念されるため、より効率的な動線が確保されると良い。
事務局	健康危機への備えについて、市の考える方向性と実際に保健所に勤務されている方の声が一致し、心強く感じた。動線については、警察等との協議も必要となるため、総合的に勘案し、より効率的な動線を検討していきたい。
委員長	今回、保健センター機能を集約し保健所と一体的に運営することだが、保健所を単独で整備する場合と比較して、職員数と施設規模は縮小される形になっているのか。
事務局	様々な要素が関係するため単純に比較はできないが、既存の所沢市保健センターと保健所単独で整備している事例とを合算した規模と比べれば、コンパクトに収まっていると考えている。

	続いて、第3章の後半に進めさせていただく。 資料3・4に基づき、第3章 敷地利用計画及び施設計画（施設整備に係る諸条件）を説明。 （質疑応答）
委員	「ZEB」や「CASBEE」など専門用語が多いため、注釈を付けるなど、市民が理解できるように工夫してほしい。
事務局	市民に公表する際、資料編として、用語集を付ける予定である。 それでは、第4章に進めさせていただく。 資料3・4に基づき、第4章 事業計画（事業手法、整備スケジュール、施設整備に係る継続的調整事項など）を説明。 （質疑応答）
委員	概算事業費について、従来方式の場合の費用であると分かりにくい ため、記載方法を工夫してほしい。
事務局	記載を修正する。
委員	設計・施工を担う事業者に関して、委員会に同席している株式会社URリンケージはどのような立ち位置なのか。設計・施工の最有力候補となるのか。
事務局	株式会社URリンケージは、基本計画の策定支援を委託している コンサルタント会社であり、保健所建設時の設計・施工事業者とは 関係ない。
委員	施設建設に係る概算事業費として約 62.9 億円を見込むとのこと だが、市が支出できる上限額は決まっているのか。昨今の建築費高騰を踏まえると、どの程度まで予算を確保できるかが重要になると 考える。また、仮に上限額を超えた場合、事業の中止や延期、ある いは規模の縮小といった対応も視野に入れているのか、市の考えを

事務局 委員長 委員 事務局	教えてほしい。 財政部門と協議は行っているものの、現時点では上限額を明示できる状況ではない。ただし、際限なく進めることは想定しておらず、今後、予算を要求する段階において、予算の妥当性や他事業とのバランスを踏まえ、その時に負担できる予算規模を精査していく。 現在進められている市民医療センターの解体・建替えに係る事業費の動向（当初の想定通りなのか、あるいは増加しているのか）が、参考になるだろう。 事業手法について、DBM方式とDB+M方式では、例えば試験検査室の空調設備等が故障した場合、その対応のスピードに違いはあるのか。 ここで言う維持管理業務は、施設全体の清掃や警備等を想定している。一方で、空調設備や検査機器については、仮にリースであれば保守込みの契約等を設備ごとに締結することも選択肢であり、その場合、故障等が発生した際は、保守契約の中で対応することとなる。（委員が想定する）緊急時対応のスピードは施設整備の事業手法とは切り離される。
事務局	（２）その他について 本日の内容について別途意見があれば、８月４日（月）までに、保健医療課宛てにメールや電話等で連絡をいただきたい。 今後の流れとして、本日及び後日いただいた意見を踏まえた内容を基本計画（素案）とし、政策会議で審議したのち、９月１日から３０日までの期間でパブリックコメントの実施を予定している。なお、パブリックコメントに先立ち、委員には基本計画（素案）を共有させていただく。 次回は、１１月１１日（火）午後６時３０分からの開催を予定している。会場は調整中のため、確定次第、連絡させていただく。 内容としては、パブリックコメントを踏まえた基本計画（案）に関する審議及び市長への答申（案）を作成いただく予定である。作成した答申は、委員長から後日市長に提出していただくことを想定

	している。	以上
--	-------	----